学校番号	309

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳地理 B」（帝国書院）　「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新編　地理資料」（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2、3 年生で 2 単位ずつ（日本史 B との選択必修）、3 年生では選択科目としてさらに 3 単位（地理演習）、合計 7 単位で教科書 1 冊の内容（系統地理分野・地誌分野）を学習し、大学受験に対応した内容に取り組む。3 年生の地理 B では、系統地理分野（2 年次に学習した内容の続きから）を学習する。資料集や地図帳を用いた学習になるため、内容を整理し、反復して知識の定着を図ることが必要になる。

2　学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、主体的に学習する態度や姿勢を身につける。	現代世界の地理的事象についての説明や課題を質疑応答の中で、自分の考えをまとめ深めていく。現代世界の地理的事象についての説明や課題をノートに記入し、自分の考えを表現、論述する力を身につける。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求方法を理解し、知識の定着をはかる。
評価方法	・授業中の学習態度や姿勢 ・定期考査や課題などでの理解度 ・ノートやプリントへの記入状況	・課題やプリントなどでの理解度 ・生徒への質問に対する回答	・教科書、資料集の読み取り状況 ・地形図等の課題学習の到達度 ・定期考査や課題などでの理解度	・定期考査や課題などでの理解度 ・ノートやプリントへの記入状況 ・授業中の発言や質問への回答

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界の工業	世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化。また、日本の工業の特徴と課題。	○	○	○	○	a:世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題などに関する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:工業の立地や発達に影響をおよぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、国や種類ごとの特徴や課題について読み取ることができる。 d:工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題や、日本の工業の特徴と課題を理解している。	a 授業態度 bc 提出課題 d 定期考査
1学期	交通と通信、世界の貿易	世界を結ぶ交通・通信、交通機関の種類や特徴。通信の発達による世界の一体化と地域差。 現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向。現代世界における日本の貿易の現状と課題。	○	○		○	a:世界を結ぶ交通・通信について、交通機関の特徴を理解するとともに、通信の発達による世界の一体化と、さらに貿易を通じて各地域間のつながりに対する課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:各種交通の運行状況やインターネットなど通信の普及に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、世界を結ぶ交通・通信網の分布や地域差について読み取ることができる。 d:交通や通信の発達の状況や一体化の進行、地域差の拡大などを理解し、その知識を身につけている。	a 授業態度 b 提出課題 d 定期考査

1・2学期	人口	世界の人口について、その分布の特徴や動態、人口構成や人口転換。人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策。人口問題の課題と解決への取り組み。村落と都市について、その立地条件や発達の背景、村落や都市がもつ機能と人間生活のかかわり。都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策。	○	○	○	○	a:世界の人口について、その分布の特色や動態、人口構成や人口転換および発展途上国と先進国のそれぞれについての人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:世界の人口について、世界の人口分布のかたよりと人口増加の原因、人口構成と人口転換の考え方、国際的な人口移動の背景を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:世界や州別・国別の人口分布や動態に関するデータ、人口ピラミッド、人口爆発や少子高齢化の人口動態に関する統計や事例などの諸資料から、有用な情報を適切に比較・選択し、人口問題の動向や国・地域ごとの差異について読み取ることができる。 d:世界人口の分布と動態、人口構成の特色と人口転換のしくみ、そして人口問題の実態について理解し、その知識を身につけている。	a 授業態度 bc 提出課題 d 定期考査
2学期	村落・都市	村落と都市について、その立地条件や発達の背景、村落や都市がもつ機能と人間生活のかかわり。都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策。	○		○	○	a:村落と都市について、その立地条件や発達経緯、機能、また民族と宗教についてもその分布や人々の生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 c:村落と都市の立地条件や、発達の背景や機能、また都市の居住問題、また世界の言語分布や宗教の特徴、生活とのかかわりなどを理解し、その知識を身につけている。 d:地形図から村落の地理的立地条件や歴史を考察する力を身につけている。	a 授業態度 c,d 提出課題 ・定期考査

2学期	生活文化、民族と領土問題	世界の衣食住について、地域的差異。世界的に画一化が進む現状。日本の衣食住の特徴やその変化。民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活とのかかわり。 民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、そのおもな原因と共生に向けた取り組み。日本の領土をめぐる問題や日本国内で暮らす外国人との共生の課題。	○	○	○	○	a:世界の衣食住について、地域的特性や差異に関心を高め、それを意欲的に追究し、理解しようとしている。 民族・領土問題について、そのおもな原因と共生に向けた取り組みに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:民族・領土問題について、世界各地や日本の事例を取り上げ、問題が起こる背景や、これを解決して民族が共生するための方策を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現でき、自己の視点からの意見を述べることができる。 c:世界の衣食住の写真や分布図、巨大企業の海外進出のデータなどの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、生活文化の地域的差異や画一化の様子について読み取ることができる。 世界各地でおこっている民族・宗教や領土に関する紛争のデータや事例などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・領土問題における原因の相違点などについて読み取ることができる。 d:世界各地の、民族・宗教や領土などの問題を理解し、多文化共生への道筋を構築するための知識を身に着けている。	a 授業態度 bc 提出課題 d 定期考査
3学期	世界の地誌	アジア アフリカ ヨーロッパ ロシア 南北アメリカ オセアニア	○	○	○	○	a: 各地域について、自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:各地域の歴史的背景をふまえた地域の変容、交易を軸に発展した都市の共通性の背景、恵まれた資源と産業の共通性と	a 授業態度 bc 提出課題 d 定期考査

							課題などの地域的特色や地球的課題を、類似的な地域を比較して考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:各地域の自然・歴史・文化・産業など関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。 d:各地域の自然の特徴、歴史的背景をふまえた地域の変容、各地域の民族と宗教の特徴、近隣下地域および世界との結びつきと農業・工業の変化などの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。